

## 2.Web版消費者教育読本を活用した授業展開例及びワークシート

### (1) スタンダード版

#### 授業展開例① ステージ1 「クレジットカードを作ってみよう」

- 題材名                    クレジットカードと契約
- 題材の目標            ・クレジットカードの仕組みと特徴を理解する。  
                                   ・契約の基礎知識を踏まえ、クレジットカードの会員規約をよく読み、規約を守ることの大切さを理解する。

#### ● 学習指導過程

時 間	主な学習活動	指導上の留意点	教材・資料
導 入 5分	● 自分や家族の持っているカードを話し合う。	・身の回りにあるカードを答えさせ、支払いに使用できるカードとそうでないカードの種類を確認させる。	
展開 I  20分	● Web 版読本で「クレジットカードを作成する場面」を疑似体験する。  ● Web 版読本で「クレジットカードが発行されるまで」の流れを確認する。	・契約の基礎知識を伝える。 ・販売方法や支払方法の多様化により、契約が複雑化している現状を伝える。 ・支払いに使用できるカードの機能を説明し、クレジットカードは他のカードと違い、「信用」がないと持つことができないことを伝える。  ・身近な例や、クレジットカードを利用する機会が増えている背景を説明し、クレジットカードを利用する際の利点と急激に普及している理由について、考えさせる。  ・クレジットカードが発行されるまでの流れとクレジットカードの仕組みについて理解させる。 ・クレジットカードを利用する場合、クレジット会社に借金をして商品等を購入することになるため、経済的に信用のある人だけがクレジットカードを持てることを伝える。	ワークシート① ・契約の基礎知識 ・販売方法の多様化 ・支払方法の多様化  ・クレジットカードのメリットを考えよう  指導者用パワーポイント資料  ワークシート① ・クレジットカードの仕組み  指導者用パワーポイント資料
展開 II  15分	● Web 版読本で「クレジットカード〇×クイズ」に挑戦する。  ● Web 版読本で「クレジットカード申込書」を確認する。	・「〇〇カード会員規約」の画面から情報を集め、クイズに挑戦させる。 ・会員規約の内容が契約の内容であること、規約を守ることの大切さを理解させる。  ・クレジットカードの申込用紙を見せ、氏名や電話番号のほかにも、収入や借り入れなどの個人情報を記入する項目があること、正しい内容を記入することを確認させる。	ワークシート① ・クイズに挑戦  指導者用パワーポイント資料
まとめ 5分	● 学習内容をワークシートにまとめ、発問に答える。	・契約の基礎知識、クレジットカードの仕組み、会員規約を守ることの大切さについて理解したかどうか、発問する。	ワークシート① ・まとめ

# ワークシート解答例

※生徒用及び解答付ワークシート（エクセル）は Web サイトからダウンロードできます。先生用ページ「教材紹介」からご覧ください。

## ワークシート① クレジットカードを作ってみよう

### 【契約の基礎知識】

- ・契約は、法的な（拘束力）が発生する約束事である。
- ・契約は、（申し込み）と（承諾）というお互いの（意思表示）が合致した時点で成立する。
- ・契約の方式は自由で、（口頭）でも契約は成立する。

### 【販売方法の多様化】

- ・（店舗）販売・・・小売店、専門店、デパート、スーパーマーケット、コンビニエンスストアなど
- ・（無店舗）販売・・・（ネットショッピング）、カタログ販売、訪問販売、電話勧誘販売など

【支払方法の多様化】 支払いに使用できるカードには、どのような支払方法があるのかを考え、それぞれの機能をまとめてみよう。

支払方法	カードの種類	機能
前払い	プリペイドカード	事前にお金を支払って、カードに登録された金額まで買い物などに利用できる。
即時払い	デビットカード	カード利用と同時に代金が銀行口座から引き落とされる。
後払い	クレジットカード	買い物の後に代金が銀行口座から引き落とされる。
現金を引き出す	キャッシュカード	ATMで銀行口座からお金を引き出す。
	ローンカード	ATMで銀行口座からお金を借りる。

【クレジットカードのメリットを考えよう】

- ①（現金）を持っていないなくても買い物ができる。
- ②（後）で支払うことができる。
- ③（分割して）支払うことができる。
- ④（海外）でも買い物ができる。

【クレジットカードの仕組み】



- ・クレジットカードの契約は、消費者、販売店及びクレジット会社による（三者間）契約である。それぞれに（メリット）があるから成り立っている。
- ・クレジットとは（信用）という意味である。
- ・クレジット会社は（必ず支払いができる）と認めた人だけが会員契約をし、クレジットカードを発行する。
- ・クレジットカードによる支払いは、クレジット会社への（借金）である。

【クイズに挑戦】 会員規約からヒントを探して、クイズの答えと理由を考えてみよう。

第1問：収入があれば誰でもクレジットカードを持つことができる。

○か×か？ 自分の答え  正解（ × ）

◆ヒント：規約第1条

理由：例）第1条の会員資格に「本規約を承認のうえ〇〇カード株式会社が発行するクレジットカードの入会申込をした個人のうち、当社が入会を認めた方」と書かれているから（もしくは、クレジットカードの入会申込をした個人のうち、クレジット会社が入会を認めた人しかクレジットカードを持つことができないから）。

第2問：クレジットカードの所有権は、クレジット会社にある。

○か×か？ 自分の答え  正解（ ○ ）

◆ヒント：規約第4条1項、2項、第11条

理由：例）第4条のカードの貸与・有効期限に「当社は、入会申込時に会員が指定したカードを、会員1名につき1枚発行し、貸与する。」「カードの所有権は当社に属し、会員本人以外は使用できない」と書かれているから（もしくはクレジットカードの所有権はクレジット会社にあり、会員に貸与すると書かれているから）。

第3問：暗証番号は4ケタの数字であれば何でも構わない。

○か×か？ 自分の答え  正解（ × ）

◆ヒント：規約第5条2項、3項

理由：例）第5条の暗証番号に「届出の暗証番号は、他人に容易に推測されないような数字（例えば、「0000」、「1234」および生年月日、電話番号、自宅の番地等はお避けください）の組み合わせを使用するとともに、他人に知られることのないよう会員が善良なる管理者の注意をもって管理するものとします。」と書かれているから（もしくは暗証番号は他人に推測されないような数字を設定して、誰にも教えてはいけないことになっているから）。

【まとめ】 クレジットカードを使うときに注意することをまとめてみよう。

例）

契約とは法律上の約束事であったり、内容を守らなければならないことがある。現在は現金以外のお金の代わりをするカードがたくさんあることが分かった。クレジットは信用という意味で、クレジットカードは経済的に信用のある人だけが持っていることが分かった。クレジットカードは便利だが、借金をして物を買うことが分かった。クレジットカードは自分のものではないので、管理をしっかりとしないといけないと思った。クレジットカードの会員規約は契約に関わるので、その内容を守ることが大切だと思った。